

令和8年9月9日

パナソニック教育財団
事務局 様

函館市立港中学校 校長 猪狩 武彦
英語科主任 穴田 晃一

公開研究会のご案内

～ AI×音読で変わる英語授業 生徒が自ら学び続ける姿をぜひご覧ください ～

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

「生徒一人ひとりに合った音読練習をしたい」「自分から学ぼうとする生徒を育てたい」—多くの英語科教師が抱えるこの課題に、本校ではAI音声認識と生徒自身によるAARサイクル（目標設定・実践・振り返り）を組み合わせた実践で取り組んでいます。本研究はパナソニック教育財団の助成を受け、中学校3年間を見通した系統的音読学習モデルの構築を目指すものです。

この度、実践の途中経過をご覧いただくとともに、研究協議では「自分の学校でどう取り組めるか」を参加者の皆様とともに考える場として、下記のとおり公開研究会を開催いたします。AIツールの有無にかかわらず明日から使える実践のエッセンスをお持ち帰りいただけるよう準備しております。ぜひご参加ください。

記

日 時	令和8年10月30日（金）
場 所	函館市立港中学校
日 程	12:45～13:10 受付 13:15～14:05 公開授業（5時間目） 14:15～15:15 研究協議（助言者：北海道教育大学名誉教授 上山恭男氏）
内 容	・公開授業（3-2） ・研究協議（「自分の学校で取り組むには」をテーマに参加者全員で議論します）
参加費／助成	無料 / パナソニック教育財団 令和8年度教育研究助成
申込方法	google フォームよりお申し込みください。 申込フォーム： https://forms.gle/Eg4dFJm9RZmSTy8W9 申込締切：令和8年10月16日（金）
お問合せ	函館市立港中学校 担当：穴田 晃一 TEL：0138-41-5790



【研究概要】

◆研究課題

中学校3年間を見通した音読学習によるエージェンシー発達 —学年縦断実践による系統的音読学習モデルの開発とPDSAサイクルの構築—

◆この研究で見えてくること

1年次はリピーティング、2年次はオーバーラッピング、3年次はシャドーイングと、発達段階に応じた音読技法を3年間かけて積み上げることで生徒の音読力変化を縦断的に検証しています。AI採点の週次データとAARの振り返り記録を組み合わせることで、「何が生徒の成長を後押しするのか」を教師自身が読み取れる実践データの蓄積を目指しています。

◆研究協議では何をするのか

「自分の学校でどう取り組めるか」をテーマに参加者全員で意見交換します。AIツールがない環境での代替案や学校規模・学年の違いによる工夫についても具体的に議論します。当日は生徒用振り返りシートの草稿もご覧いただけます。